



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月30日

上場会社名 株式会社ニチダイ
 コード番号 6467 URL <https://www.nichidai.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊藤 直紀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山根 隆義
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0774-62-3481

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	3,373	24.4	146		149		99	
2021年3月期第1四半期	2,712	33.0	154		104		79	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 239百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 428百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	11.00	
2021年3月期第1四半期	8.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	16,681	12,369	67.0
2021年3月期	15,656	12,169	70.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 11,170百万円 2021年3月期 11,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		4.00	4.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,800	33.3	135		145		100		11.05
通期	13,600	25.7	400		430		290		32.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	9,053,300 株	2021年3月期	9,053,300 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,066 株	2021年3月期	2,066 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	9,051,234 株	2021年3月期1Q	9,051,234 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明資料については、7月30日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更等)	7
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9
3. その他	10
(生産、受注及び販売の状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における、当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業では、日系自動車メーカーの国内外の生産台数が前年同期比で増加傾向となっているものの、対前々年比減となっており、新型コロナウイルス感染拡大による低迷から回復途上の段階にあります。

世界の自動車販売台数の状況は、北米、欧州、ASEANは前年同期比で増加傾向となっております。一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響から一早く回復した中国は、第1四半期に入り、半導体供給不足の影響が生じ始め、前年同月比減の傾向が続いております。

以上のように、新型コロナウイルスの収束が見えていないことに加え、半導体供給不足の影響も生じており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、ネットシェイプ事業では、自動車産業の回復に伴い、国内、海外双方の売上が前年同期比増の傾向で推移いたしました。その結果、ネットシェイプ事業の売上高は16億4千6百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

アッセンブリ事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により低迷したターボチャージャー部品の需要が回復し、売上高は11億2千5百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

フィルタ事業につきましては、海外向売上が好調に推移いたしました。その結果、フィルタ事業の売上高は6億1百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

以上の結果、連結売上高は33億7千3百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

損益面におきましては、前年低迷したネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の売上が回復したことから、全事業において経常利益を計上いたしました。その結果、営業利益1億4千6百万円（前年同期は1億5千4百万円の営業損失）、経常利益1億4千9百万円（前年同期は1億4百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益9千9百万円（前年同期は7千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産におきましては、前連結会計年度末に比べ10億2千4百万円増加し、166億8千1百万円となりました。これは、主に現金及び預金が2億1千1百万円、受取手形及び売掛金が1億4千7百万円、電子記録債権が1億3千3百万円、未収入金が4億7千2百万円増加した一方、有形固定資産が5千8百万円減少したことによるものであります。

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ8億2千4百万円増加し、43億1千1百万円となりました。これは、主に買掛金が1億6千6百万円、賞与引当金が1億9千4百万円、リース債務が4億8百万円増加したことによるものであります。

純資産におきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益9千9百万円、為替換算調整勘定9千2百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べて2億円増加し、123億6千9百万円となり、自己資本比率は67.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,432,547	3,643,755
受取手形及び売掛金	2,527,242	2,674,250
電子記録債権	644,288	777,378
商品及び製品	564,123	605,964
仕掛品	780,390	833,752
原材料及び貯蔵品	456,564	431,050
その他	81,706	580,928
流動資産合計	8,486,863	9,547,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,793,862	1,769,615
機械装置及び運搬具(純額)	1,446,503	1,620,793
土地	1,812,815	1,818,060
その他(純額)	1,001,026	787,618
有形固定資産合計	6,054,209	5,996,088
無形固定資産	611,836	590,410
投資その他の資産	503,353	547,451
固定資産合計	7,169,398	7,133,949
資産合計	15,656,262	16,681,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,280,100	1,446,161
短期借入金	-	100,000
1年内返済予定の長期借入金	762,592	827,782
リース債務	20,682	245,251
未払法人税等	55,858	30,594
賞与引当金	156,683	351,174
その他	579,323	554,578
流動負債合計	2,855,239	3,555,541
固定負債		
長期借入金	598,668	488,948
リース債務	33,079	217,354
繰延税金負債	-	2,926
退職給付に係る負債	-	46,654
固定負債合計	631,747	755,883
負債合計	3,486,987	4,311,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,429,921	1,429,921
資本剰余金	1,192,857	1,192,857
利益剰余金	8,062,488	8,125,838
自己株式	△1,236	△1,236
株主資本合計	10,684,030	10,747,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,040	4,555
為替換算調整勘定	290,912	383,617
退職給付に係る調整累計額	35,732	35,038
その他の包括利益累計額合計	333,685	423,212
非支配株主持分	1,151,558	1,199,011
純資産合計	12,169,274	12,369,604
負債純資産合計	15,656,262	16,681,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,712,996	3,373,807
売上原価	2,347,209	2,687,998
売上総利益	365,786	685,808
販売費及び一般管理費	520,451	539,292
営業利益又は営業損失(△)	△154,664	146,516
営業外収益		
受取利息	2,471	578
受取配当金	133	103
受取保険金及び保険配当金	3,850	4,038
助成金収入	56,490	-
その他	2,488	2,323
営業外収益合計	65,434	7,043
営業外費用		
支払利息	1,941	2,544
為替差損	11,922	1,117
その他	1,001	810
営業外費用合計	14,864	4,472
経常利益又は経常損失(△)	△104,095	149,087
特別利益		
固定資産売却益	-	532
特別利益合計	-	532
特別損失		
固定資産除却損	1,027	0
特別損失合計	1,027	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△105,122	149,619
法人税、住民税及び事業税	19,528	26,462
法人税等調整額	△47,384	5,701
法人税等合計	△27,856	32,164
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77,265	117,455
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,940	17,900
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△79,206	99,554

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77,265	117,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	753	△2,484
為替換算調整勘定	△354,882	125,568
退職給付に係る調整額	3,266	△693
その他の包括利益合計	△350,862	122,390
四半期包括利益	△428,128	239,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△331,921	189,081
非支配株主に係る四半期包括利益	△96,207	50,764

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

(1) 履行義務への取引価格の配分

当社における製品の販売と設備の正常稼働確認等のサービス提供が一体となった取引について、従来は、取引価格に含まれるマージンを製品に配分しておりましたが、製品とサービスの独立販売価格の比率に基づき、取引価格を配分する方法に変更しております。

(2) 変動対価が含まれる取引に係る収益認識

一部の海外連結子会社における売上レポートについて、従来は、金額確定時に売上高から控除しておりましたが、取引の対価の変動部分の額を見積り、認識した収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り取引価格に含める方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,059千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額減少しております。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、当第1四半期連結会計期間の連結貸借対照表において、流動資産の「受取手形及び売掛金」が6,039千円、流動負債の「その他」に含まれております「返金負債」が6,039千円増加しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(無形固定資産の耐用年数の変更)

当社が保有するソフトウェアは、従来、耐用年数を5年として減価償却を行ってまいりましたが、当第1四半期連結会計期間において、基幹システムを再構築したことに伴い、ソフトウェアの経済的耐用年数を検討した結果、当該基幹システムについては10年間使用可能であると判断したため、耐用年数を10年に見直しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の減価償却費は6,827千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は同額増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ネットシェイプ	アッセンブリ	フィルタ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,164,031	967,927	581,036	2,712,996	—	2,712,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	285	—	—	285	△285	—
計	1,164,317	967,927	581,036	2,713,282	△285	2,712,996
セグメント利益又は損失(△)	△139,140	△55,908	90,954	△104,095	—	△104,095

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ネットシェイプ	アッセンブリ	フィルタ	計		
売上高						
日本	1,048,460	489,612	374,916	1,912,989	—	1,912,989
タイ	296,279	635,938	31,158	963,376	—	963,376
その他	301,938	—	195,502	497,440	—	497,440
顧客との契約から生じる 収益	1,646,678	1,125,551	601,577	3,373,807	—	3,373,807
外部顧客への売上高	1,646,678	1,125,551	601,577	3,373,807	—	3,373,807
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,372	—	—	20,372	△20,372	—
計	1,667,051	1,125,551	601,577	3,394,179	△20,372	3,373,807
セグメント利益	35,253	35,418	78,415	149,087	—	149,087

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「ネットシェイプ」の売上高は1,059千円減少し、セグメント利益は同額減少しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

3. その他

(生産、受注及び販売の状況)

(1) 販売実績

(単位：千円)

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
ネットシェイプ	1,164,031	42.9	1,646,678	48.8
アッセンブリ	967,927	35.7	1,125,551	33.4
フィルタ	581,036	21.4	601,577	17.8
合計	2,712,996	100.0	3,373,807	100.0

(注) 内、海外向売上高

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
ネットシェイプ	402,715	34.6	598,218	36.3
アッセンブリ	532,003	55.0	635,938	56.5
フィルタ	155,090	26.7	226,660	37.7
合計	1,089,809	40.2	1,460,817	43.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

(単位：千円)

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ネットシェイプ	856,381	1,008,158	1,729,364	1,404,290
アッセンブリ	394,061	1,034,724	1,126,840	1,523,474
フィルタ	619,673	578,554	623,275	678,392
合計	1,870,115	2,621,436	3,479,479	3,606,157

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. ネットシェイプの精密鍛造品部門とアッセンブリの受注状況には、内示受注高を含んでおります。

(3) 生産実績

(単位：千円)

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	
	金額		金額	
ネットシェイプ	1,145,563		1,650,156	
アッセンブリ	980,041		1,165,620	
フィルタ	573,214		621,973	
合計	2,698,820		3,437,750	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。